

2021. 3. 3

# 東海大学九州キャンパス

## 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

～version 2～

### 【春学期：学生用】

※新型コロナウイルス感染症の発生状況等により  
変更する場合がございます。予めご了承ください。

## 【目 次】

1. 日常生活 .....	2
2. 春学期中の感染対策	
① 対面授業での感染対策 .....	3
教室の消毒方法 .....	3
座 学 科 目 .....	4
実 験 科 目 .....	5
実 習 科 目 .....	6
実 技 科 目 .....	7
② バス内の感染対策 .....	8
③ 学外教育の感染対策 .....	9
④ 研究室や共通室の研究活動における感染対策 ..	10
3. 資料	
① 資料 1（正しい手洗い方法とは） .....	11
② 資料 2（健康観察表） .....	12
③ 資料 3（阿蘇実習フィールドへのバス利用申込書）	13
④ 資料 4-7（バスの座席表） .....	14

## 【1. 日常生活】

1. 毎日の健康管理を行う（体温測定、症状の有無の確認）。
2. 体調不良時（発熱や有症状時）は自宅で安静にする。  
\* 所属長および担当教員に連絡。
3. 適切なタイミングで正しい手洗い（資料1）・手指消毒をする。  
\* トイレ後・食事前・帰宅後・汚染物（マスク等）に触れた後
4. 帰宅後は、正しい手洗い（資料1）・うがいを行う。
5. 十分な対人距離を確保する（1 m以上）。
6. 原則マスクを着用する。外を歩く場合も常にマスクを携帯する。
7. 食事はできるだけ無言で、速やかに摂取する（正面の対面で座らない）。
8. プライベートの活動は、県・市の方針に従い、外出先の記録（書式自由）をつけること。※必要に応じて提出を求める場合がある。
9. 海外（感染症危険レベル発令地域）から帰国した場合は、政府の要請に基づき2週間の自宅待機をする。
10. 新型コロナウイルス感染症陽性者や濃厚接触者の場合は、原則保健所の指示に従い自宅待機とする。入構に関しては、別途協議の上決定する。
11. 教職員・学生は、原則接触確認アプリ「COCOA」をダウンロードする（機種によってはダウンロードが困難な場合があります）。
12. 本学教職員および学生は入館時に必ず入構許可証（ネクストラップ）を着用する。

## 【2. 春学期中の感染対策】

### ① 学内滞留及び対面授業での感染対策

対面授業とは、座学科目・実験科目・実習科目・実技科目・ゼミナール科目・卒業研究を指す。

対面授業を実施する際は、各対面授業の感染対策を遵守するとともに、以下記載の＜教室の消毒方法＞に従うこと。

\*滞留場所については以下の場所とする。

- ・新1号館地下ホール・構内ベンチ
- ・櫛会館・コミュニティハウス（昼食時間を除く）

\*健康状態の確認は追加で体温測定等の感染対策を行ってもかまわない。なお、非接触型の体温計が必要な場合は九州教学課教務係で借りる（又貸し厳禁）。

#### ＜教室の消毒方法＞

1. 教室内にある消毒セットを使用する。
2. 講義終了後、教員と学生で必ず行う（以下、消毒手順）。
  - ① 講義終了後、教科書等を片付け机・椅子に何もない状態にする。
  - ② ペーパータオルに消毒液を吹きかけ、机・椅子を拭く。
  - ③ 使用したペーパータオルは指定のビニール袋に捨てる。
  - ④ 消毒した机・椅子には触れずに退室する。
3. 教員は、全員が退出した後に教卓・使用物品等を消毒し、ビニール袋の封をしてからゴミ箱に捨てる。
4. 教員は、消毒セットを元の位置に戻しドアを開放したまま退室する。  
※消毒液が少ない場合は健康推進室に行き補充を行う。

## 〔座 学 科 目〕

### 【授業前】

1. 全員マスクを着用する。
2. 学生は入構許可証の名札（ネックストラップ）を着用する。
3. 担当教員は各教室の定員人数（試験定員）を守り、座席指定表を作成し、提出できるようにしておくこと。
4. 常時換気を行う（エアコンを ON のままドアの開放、窓を開ける）。
5. 入室の際はアルコール手指消毒を実施する。

### 【授業時】

6. 授業開始時に出席確認を行い、指定されている座席に着席しているかの確認と健康状態を確認し、毎回記録（書式自由）して保存しておくこと（体調不良者は九州健康推進室に連絡）。
7. 授業に関係のない会話は控えさせる（私語の多い学生には注意をずる）。
8. 席を移動してディスカッションを行う場合は、ディスカッション後に各自使用した机を消毒する（ディスカッションした学生グループを記録（書式自由）・保存）。
9. 授業を定刻の 10 分前に終了し、清掃時間を設ける。

### 【授業後】

10. 授業終了後に、各自使用した机・椅子を消毒する。（P 3 参照）
11. 担当教員は、全員が退出した後に教卓・使用物品等を消毒し、ビニール袋の封をしてからゴミ箱に捨てる。
12. 担当教員は、消毒セットを元の位置に戻しドアを開放したまま退室する。

※消毒液が少ない場合は九州健康推進室に行き補充を行う。

## 〔実験科目〕

### 【授業前】

1. 全員マスクを着用する。
2. 学生は入構許可証の名札（ネックストラップ）を着用する（授業時は外してもよい）。
3. 各グループの人数は可能な限り少人数にする。
4. 座席・配置を必ず指定する。
5. 換気ができない場合を除き、ドアと窓を開放して換気を行う。
6. 入室の際は、アルコール手指消毒をする。
7. 共通機器等はナンバリングを行い、使用者を特定できるようにする。

### 【授業時】

8. 長時間対面（1 m 以内）で作業が発生する場合は、マスクを着用の上、フェイスシールドの着用を推奨する。

※フェイスシールドは学部・学科で準備

9. 授業開始時に出席確認を行い、指定されている座席に着席しているかの確認と健康状態の確認をし、毎回記録（書式自由）して保存しておくこと（体調不良者は九州健康推進室に連絡）。
10. 説明を聞くときは1 m以上離れ、実験中も可能な限り距離をとる。
11. 実験中こまめに正しい手洗い（資料1）をし、ペーパータオルでふき取り、可能であれば手袋を着用する。

### 【授業後】

12. 実験終了後、洗浄できる器具は洗浄し、その他の器具は可能な限り消毒をする。
13. 退室する前に実験台や椅子等を消毒する。

## 〔実習科目〕

### 【授業前】

1. 全員マスクを着用する。
2. 学生は入構許可証の名札（ネックストラップ）を着用する（授業時は外してもよい）。
3. 各グループの人数は可能な限り少人数にする。
4. 座席・配置を必ず指定する（実習に移る前の講義時間等に指示）。
5. 室内実習では、ドアと窓を開放して換気を行う。
6. 入室の際は、アルコール手指消毒をする。
7. 共通機器等はナンバリングを行い、使用者を特定できるようにする。

### 【授業時】

8. 室内実習では、長時間対面（1 m以内）で作業が発生する場合、マスクを着用の上、フェイスシールドの着用を推奨する。  
※フェイスシールドは学部・学科で準備
9. 屋外での作業はマスクを外してもよい。
10. 授業開始時に出席確認を行い、室内の場合は指定されている座席に着席しているかの確認と健康状態の確認をする（体調不良者は九州健康推進室に連絡）。
  - ① 阿蘇実習フィールドへ行く場合はバスの乗車前に健康状態の確認をする。
  - ② 健康状態を毎回記録（書式自由）・保存する。
11. 実習中も可能なかぎり距離をとる（1 m以上）。
12. 実習中こまめに正しい手洗い（資料1）をし、ペーパータオルでふき取り、可能であれば手袋を着用する。

### 【授業後】

13. 実習終了後は、使用した機器の消毒をする。

## 〔実技科目〕

### 【授業前】

1. 全員マスクを着用する。
2. 学生は入構許可証の名札（ネックストラップ）を着用する（授業時は外してもよい）。
3. 各グループの人数は可能な限り少人数にする。
4. 室内での実技は、ドアと窓を開放して換気を行う。
5. 教場に入る前に、各学生が正しい手洗い（資料1）を行い入場する。
6. 共有器具等はナンバリングを行い、使用者を特定できるようにする。
7. 授業前に forms に体調等を入力する。体育系授業の出席調査となる。

### 【授業時】

8. 授業開始時に出席確認と授業で使用する用具番号を各教員が控える。
9. 室内では、マスクをしたまま授業を行い、息が上がらない程度の運動に抑える（屋外ではマスクを外してもよい）
10. 人によって息苦しい場合は休むことを積極的に指導する。
11. 常に両手間隔を保つよう意識をする。
12. ボールなど器具は各授業で使う数を制限する。

### 【授業後】

13. 支柱などの機具は使用する各教員が消毒を行う。
14. 各学生が使用した用具は学生が授業後消毒を行い、元の場所へ戻す。
15. 正しい手洗い（資料1）を行ってから、次の授業や更衣に入る。

### 〔更衣室〕

1. 換気のため常に窓を開ける。
2. 出入り口に入室できる人数と、現在の入室者を表示し、着替え時はマスクを着けたまま速やかに更衣を済ませて、退出する。
3. 更衣室の使用については、ガイダンス時に行い、学生は担当教員の指示に従い使用する。



## ② バス内の感染対策

### 1. 乗車ルール

- ① 乗車前に検温し、発熱が認められる場合（九州健康推進室に連絡）は乗車を見合わせる。
- ② 乗車時にアルコール手指消毒する。
- ③ マスクは必ず着用する。
- ④ 運転席側最前列の座席は使用せず2席を1人利用し、窓側と補助席に交互に座るよう座席表を作成する（資料4～7）。
- ⑤ 車内での会話は控える。
- ⑥ 乗車便毎の名簿管理（書式自由）を徹底する（感染者が出た場合の濃厚接触者の把握）。
- ⑦ 卒業研究用バスを利用する場合は、降車時に自分の席を記入用紙に記入し提出する。
- ⑧ 乗車便毎の乗車申請書提出（資料3）を徹底する（バス運行台数の把握のため）。※授業の場合は除く。

### 2. 運行ルール

- ① 可能な限り窓を開けて運行する。
- ② 運行時には換気扇を使用する。
- ③ エアコンは外気導入または、強制排気を常時使用する。
- ④ 運行終了後、窓を開けて換気を行い、消毒をする。

### 3. 運転手の感染防止対策

- ① マスクを使用する。
- ② 毎朝起床後に検温を実施する。
- ③ バス乗車前に手指消毒をする。
- ④ 運転席周りに飛沫感染シートを設置する。

### 4. バスの座席表

- ① 通常時  
車両：2013・2014 最大乗車人数 20席 資料4
- ② 実習実施時  
車両：2013・2014 30席 資料5  
車両：2016 29席 資料6  
車両：362 26席 資料7

### ③ 学外教育の感染対策

1. 実習受け入れ施設の指示に従い、実習準備を行う。
    - ① 2週間の健康管理（健康観察表（資料2）への記録必須）の上、異常がなければ実習を開始。
    - ② 健康観察表（資料2）は大学の実習担当教員ならびに実習受け入れ施設から求められたら実習受け入れ施設へ提出。
  2. 実習中は、原則、受け入れ施設の指示に従い、実習生は毎日の健康状態を担当教員に報告する。
  3. 実習終了後、1週間は健康観察を実施し、担当教員に健康状態の報告とともに必要があれば実習受け入れ施設にも報告する。
  4. 1週間の健康観察で異常があれば、速やかに九州健康推進室へ報告する。
- ※ 実習施設によっては、PCR検査が求められる。

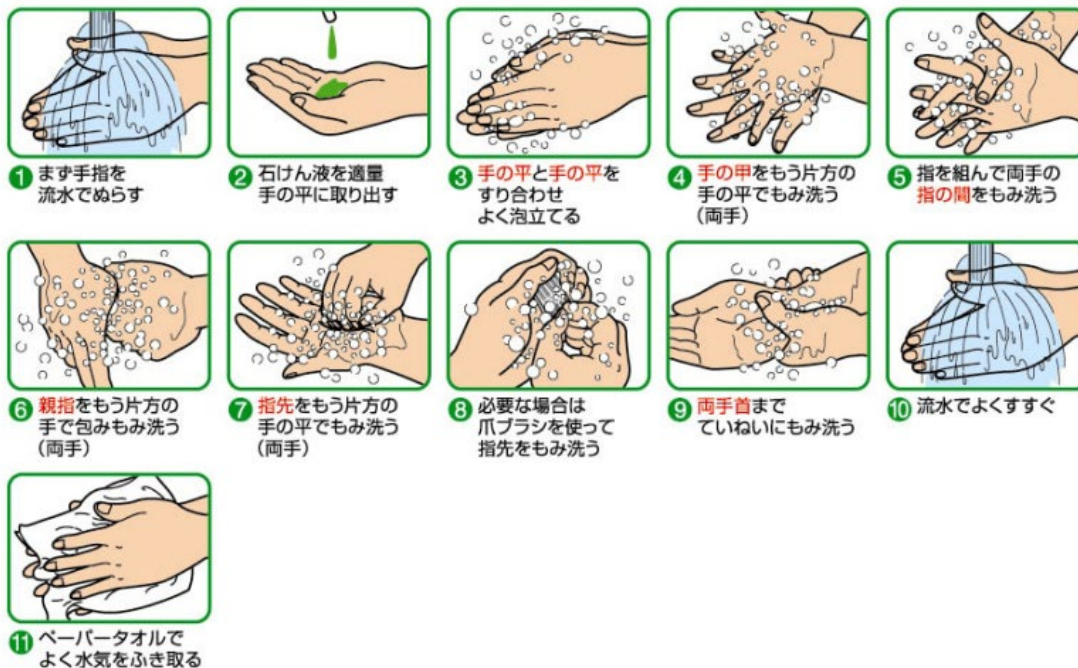
## ④ 研究室や共通室の研究活動における感染対策

- ※ 担当教員が、指導する院生・学生および研究室関係者の感染対策に留意する。
  - ※ 担当教員は、入室した学生の入室・退室時間を記録（書式自由）して保存しておくこと。
  - ※ 学生は入構許可証の名札（ネックストラップ）を着用すること。（実験時は外してもよい）。
1. 密閉した部屋は使用しない（但し、実験等で使用する場合は2人以下で使用か、可能な限り入口ドアの開放や換気扇の利用などで換気に努める）。
  2. 常時、入口のドアや窓を対角線上に開け、積極的に換気扇等を使用する。
  3. 長時間対面(1m 以内)で作業が発生する場合は、マスクを着用の上、フェイスシールドの着用を推奨する。
  4. 入室の際は、アルコール手指消毒をする。
  5. (2人以上の場合)対面ではなく横並びに座るよう配置するか、対面する場所はパーテーションやビニールカーテン等を設ける。
    - \* 人と人の間隔を1 m以上離すことが原則
  6. 使用後は、洗浄できる器具は洗浄し、その他の器具は可能なかぎり消毒をする。
  7. 共通機器等はナンバリングを行い、使用者を特定できるようにしておく。
  8. 最後に実験台や机、椅子を消毒する。

### 【3. 資 料】

#### 資料 1

## 正しい手洗い方法とは？



## 資料2

### 健康観察表

Ver.4 9/1～

学生証番号/教職員番号

名前

連絡先

- ① 自分で下記の症状があるかないか健康観察(1日2回12時間ごと)を行ってください。  
② ご自身の健康に不安がある際は、九州健康推進室にご相談ください。

日にち(曜日)	/ ( )		/ ( )		/ ( )		/ ( )		/ ( )		/ ( )		/ ( )	
測定した時間	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
体温	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
※ 強いだるさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
※ 息苦しさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
のどの痛み	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
くしゃみ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
咳	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
たん	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
味覚の変化	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
嗅覚の変化	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)														

帰国者・接触者相談センターは全ての都道府県に設置されています。  
詳しくは下記のQRコードからご覧いただけます。



【厚生労働省が出している帰国者・接触者相談センターに相談いただく目安・2020年5月13日現在】

- ・ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・ 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(POCD等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、妊婦の方)で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・ 上記以外で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が4日以上続く場合やご自身で強い症状と思う場合

なお、上記のいずれかに該当しない方も「帰国者・接触者相談センター」へのご相談は可能です。

健康観察表の記録方法をはじめ、日常生活における感染対策や健康面での相談は、九州健康推進室までお問い合わせください。

電話：096-386-2735 (直通)  
開設時間：平日(月～金) 9:00～17:00  
e-mail：corona-kyushu@tsc.u-tokai.ac.jp

資料3

阿蘇実習フィールドへのバス利用申込書

乗車日	年 月 日 ( )			
所属	学科		研究室	
	教員氏名：		印	教員乗車：有・無
	教員乗車無しの場合の代行教員氏名：			
乗車対象者	熊本校舎発		阿蘇実習フィールド発	
	8：30	12：40	11：45	16：00
	氏名(full name)	氏名(full name)	氏名(full name)	氏名(full name)
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				
連絡事項欄				

※連絡事項欄は、途中乗降の連絡や実習バス乗車等必要に応じてご記入ください。

九州事務課確認

資料4

座席表（通常時）

車両 2013・2014

					乗務	座席	補助
					1		
	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	1	1
1	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	1	0
2	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	1	1
3	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	1	0
4	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	1	1
5	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	1	0
6	G-1	G-2	G-3	G-4	G-5	1	1
7	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	1	0
8	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5	1	1
9	J-1	J-2	J-3	J-4	J-5	1	0
10	K-1	K-2	K-3	K-4	K-5	1	1
11	L-1	L-2	L-3	L-4	L-5	1	
12	M-1	M-2	M-3	M-4	M-5	2	
13							

運転席

	14	6
20		





資料6

座席表 (実習実施時)

車両		2016					乗務	座席	補助
					乗務員	運転席			
1	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	1			
2	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5		2	1	
3	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5		2		
4	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5		2	1	
5	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5		2		
6	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5		2	1	
7	G-1	G-2	G-3	G-4	G-5		2		
8	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5		2	1	
9	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5		2		
10	J-1	J-2	J-3	J-4	J-5		2	1	
11	K-1	K-2	K-3	K-4	K-5		2		
12	L-1	L-2	L-3	L-4	L-5		3		
付属品	オーディオ機器 (CD・TV・DVD)						24	5	
	マイク					29			
	冷蔵庫								
	給湯器								

資料7

座席表（実習実施時）

<b>車両</b>	<b>362</b>							
				<b>乗務員</b>	<b>運転席</b>	<b>乗務</b>	<b>座席</b>	<b>補助</b>
1	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	1		
2	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5		2	1
3	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5		2	
4	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5		2	1
5	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5		2	
6	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5		2	1
7	G-1	G-2	G-3	G-4	G-5		2	
8	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5		2	1
9	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5		2	
10	J-1	J-2	J-3	J-4	J-5		2	1
11	K-1	K-2	K-3	K-4	K-5		2	
							21	5
						26		